

# 令和元年度 事業実施報告書

## I 国際交流の活発化 3,141,500 円

※決算額は管理費部分を除く純事業費を記載（以下同様）

### 1. 外国人の受入拡大事業 2,511,396 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域と交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでの相互交流の一層の拡大を図った。

#### (1) 北東アジア友好交流促進事業

##### ア 中国黒龍江省との友好交流促進事業

##### (ア) 日本語教師派遣支援事業〔県委託事業〕

黒龍江省への日本語教師3名の派遣に対し助成を行った。

##### (イ) 黒龍江省との交流事業

黒龍江省人民政府対外友好協会等と連携し、中国黒龍江省佳木斯（ジャムス）市において同省内で日本語を学ぶ学生を対象とした「2019“新潟杯”日本語スピーチコンテスト」を開催した。

##### 【スピーチコンテストの概要】

- ・期 日：6月24日（月）
- ・会 場：佳木斯大学会議室
- ・出場者：13名（観覧者約150名）



2019“新潟杯”日本語スピーチコンテスト

また、同コンテストにおける1等賞受賞者3名を10月28日（月）から11月1日（金）まで新潟旅行に招待し、新潟県の伝統・文化・産業を紹介した。

##### イ モンゴルとの友好交流促進事業

(ア) 「2018“新潟賞”日本語スピーチコンテスト」最優秀賞新潟招待旅行の実施  
平成30年9月にモンゴル国で開催された標記コンテストの最優秀賞受賞者2名を4月8日（月）から13日（土）まで新潟旅行に招待し、新潟県の伝統・文化・産業を紹介した。

##### (イ) モンゴルへの技術協力事業

（特活）新潟県対外科学技術交流協会ほか関係団体とともに実行委員会を組織し、次の事業を実施した。

##### ○モンゴル国中小企業等への技術協力事業〔新潟・国際協力ふれあい基金事業〕

モンゴルにおける製造業を中心とする技術力の向上及び地域の経済発展に貢献することを目的に、研修生を受け入れた。

##### ・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課）、

（公財）環日本海経済研究所、（公財）新潟県国際交流協会

## (2) 留学生就職支援セミナー

新潟県内の大学や専門学校等で学ぶ留学生を対象に、日本での就職活動に必要な基礎知識や在留資格に関する留意事項など、就職情報を提供するセミナーを開催するとともに、参加企業からの自社紹介などを行った。

- ・期日・会場：11月1日(金)、朱鷺メッセ
- ・参加者：留学生 82名、企業関係者 12社 18名
- ・内容：

- 第1部 講演「日本の就職活動とは」  
新潟新卒応援ハローワーク  
学卒ジョブサポーター 水品 優子 氏
- 第2部 講演「留学生の就職に伴う在留資格」  
東京出入国在留管理局審査管理部門  
統括審査官 安本 大輔 氏
- 第3部 質疑応答・関係機関からのお知らせ  
公益財団法人環日本海経済研究所  
経済交流推進員 蔡 聖錫 氏
- 第4部 参加企業の紹介



留学生就職支援セミナー

## 2. アジアを知る事業 443,016円

### (1) 国際理解セミナー

多様な姿で急速に発展し、世界の中で重要な役割を果たすようになってきているアジアの社会・文化等を学ぶ国際理解セミナーを、県内5地域で計8回開催し、延べ284名が参加した。

#### ア 新潟市

- ① 「現代ミャンマーと人々の暮らし」  
NPO 法人アジアクラフトリンク  
マネージャー 大場 寛之 氏  
・期日：9月15日(日)、  
・会場：新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」  
・参加者：45名
- ② 「ラオスから考える戦争と平和」  
新潟国際情報大学 准教授 瀬戸 裕之 氏  
・期日・会場：9月22日(日)、朱鷺メッセ  
・参加者：29名
- ③ 「SDGsでアジア諸国を知ろう！」  
事業創造大学院大学 地域・国際担当副学長  
富山 栄子 氏



国際理解セミナー

「現代ミャンマーと人々の暮らし」

・期日・会場：9月29日(日)、朱鷺メッセ

・参加者：30名

④「もっと！台湾。」

新潟国際情報大学 国際学部専任講師 小林 伊織 氏

・期日・会場：10月27日(日)、新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

・参加者：40名

イ 柏崎市

⑤「台湾最新事情」

新潟産業大学 名誉教授 詹 秀娟 氏

・期日・会場：10月18日(金)、柏崎市市民プラザ

・参加者：23名

ウ 南魚沼市

⑥「東アジアの国際関係：文化的歴史的な比較の視点から」

元外務省参与 天江 喜七郎 氏

・期日・会場：11月1日(金)、国際大学

・参加者：30名

エ 胎内市

⑦「発見！多様な食文化から見るベトナム」

新潟食料農業大学 副学長・学部長 中井 裕 氏

・期日・会場：11月2日(土)、新潟食料農業大学

・参加者：33名

オ 上越市

⑧「長春から見た現在の中国の変化」

中国東北師範大学 美術学院教授 費 明宇 氏

・期日・会場：11月16日(土)、上越市市民プラザ

・参加者：54名

**3. 受け皿整備事業 187,088円**

**(1) ホストファミリー整備事業**

国際理解の推進と海外からの来県者のホームステイ先の拡充を図るため、ホストファミリー講座及び受入れ体験説明会を開催した。

また、参加者を対象に外国語指導助手(ALT)や留学生の1泊2日のホームステイ受入体験を実施した。

ア ホストファミリー講座・説明会

① 長岡会場

・期日・会場：8月18日(日)、まちなかキャンパス長岡

② 新潟会場

・期日・会場：8月25日(日)、新潟県国際交流協会 国際交流プラザ

③ 上越会場

・期日・会場：8月31日(土)、上越市市民プラザ

参加者計：日本人32名、留学生・ALT 17名

イ ホームステイ体験

10月5日(土)～6日(日)

・参加者：16家庭、留学生・ALT19名

※受入家庭に対し、受入1名につき3,000円を補助した。



ホストファミリー講座(上越会場)

## II 国際協力活動の支援 6,530,513 円

### 4. 新潟・国際協力ふれあい基金事業 6,530,513 円

#### (1) NGO 等への助成

海外の開発途上国などで活躍する NGO の人道援助活動等に対する財政支援等を通じ、新潟からの国際協力の推進を図ることを目的に、「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに助成金を交付した。

・助成実績：6 件、計 5,580,000 円

#### (2) 基金運営

##### ア 審査委員会の運営

助成対象の審査等を行う審査委員会を開催した。

・期日：12 月 13 日(金)

・会場：万代島ビル会議室

##### イ 募金活動

市町村役場や県内各地の日帰り温泉施設及び宿泊施設等に引き続き募金箱の設置を依頼し、広く県民に「新潟・国際協力ふれあい基金」事業の周知を図るとともに、県民から基金への寄附を募った。

##### ウ 募金実績

(単位：円)

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
募金額	109,576	98,748	93,487	100,714	122,225
累 計	15,538,262	15,637,010	15,730,497	15,831,211	15,953,436

### III 多文化共生の支援 20,149,008 円

#### 5. 国際理解推進事業 2,824,638 円

##### (1) 広報誌の発行

県民の国際理解を促進するため、県内における国際交流や多文化共生推進の取組を県民に紹介する広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学や公共施設等に配付した。

- ・発行時期：9月(第18号)、令和2年3月(第19号)
- ・配付先：【日本語版】県内高校・大学等、公民館、図書館、市町村、民間団体等  
計13,000部  
【英語版】 県内大学等、公民館、図書館、市町村等 計3,800部

##### (2) 国際交流プラザ講座

新潟県国際交流プラザにおいて、JICA ボランティア経験者等が講師となり、国際協力活動等について紹介した。

- ・講座実施数：4回(中学、中等教育学校、高校、団体各1回)

##### (3) 国際交流プラザでの展示等

県民の国際理解を促進するため、新潟県国際交流プラザにおいて各種展示やイベントを実施した。

- ① ゴールデンウィーク交流フェア  
期日：4月28日(日) 参加者：21名
- ② 夏休み国際交流プラザフェア  
期日：8月10日(土) 参加者：29名
- ③ ハロウィーンフェア  
期日：10月26日(土) 参加者：30名
- ④ 春節フェアウイーク  
期間：1月20日(月)～30日(木)
- ⑤ 節分フェア  
期日：2月3日(月)
- ⑥ マースレニツァフェア  
期間：2月17日(月)～28日(金)



ハロウィーンフェア

##### (4) 国際理解教育推進協議会

県内の各学校における国際理解教育の推進を図ることを目的として、教育関係者や教育関係機関で構成する国際理解教育推進協議会を設置し、ともに活動を行っている。なお、令和2年3月9日(月)に予定していた協議会の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議とした。

## (5) 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

学校や地域における国際理解に関する学習や活動についてプレゼンテーションを行うコンテストを新潟県国際理解教育推進協議会と連携して開催した。

コンテストは中学生部門と高校生部門に分けて実施し、副賞として各部門最優秀チームに賞金10万円を贈呈した。(副賞として予定していた台湾スタディツアーは、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。)

### 【プレゼンテーションコンテスト】

- ・期日及び会場：12月21日(土)、朱鷺メッセ
- ・参加チーム数：中学生部門9、高校生部門11
- ・来場者数：延べ350名
- ・最優秀賞：

〈中学生部門〉

AB5チーム(村上市立荒川中学校)

「パーニュから広がる国際協力」

〈高校生部門〉

HITOSHEEEEEZ チーム(上越高等学校)

「君のメガネ、僕のメガネ～みんなちがってみんないい～」



プレゼンテーションコンテスト

## 6. 在住外国人支援事業 9,972,516円

### (1) 外国人生活相談

#### ① 9月30日まで

主に県内の在住外国人が文化・習慣や制度の違い等から直面している生活上の諸問題の解決をサポートするため、通訳員を配置して相談業務を実施した。

また、月1回、行政書士が来所して相談に対応した。

- ・対応言語：6カ国語(日本語、英語、中国語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語)
- ・相談件数：149件(24.8件/月)
- ・相談内容：①入管手続、②労働、③教育、③結婚・離婚等、⑤年金・税金

#### ② 10月1日以降

新潟県からの委託を受け、外国人生活相談事業を拡充した「外国人相談センター新潟」を開設した。

### 【通常相談】

- ・対応言語：8カ国語(日本語、英語、中国語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語)

他に通訳ソフトを利用することで74言語に対応

- ・相談件数：327件(54.5件/月)
- ・相談内容：①入管手続、②労働、③教育、④住宅、⑤結婚・離婚等

## 【専門相談】

通常相談とは別に、下記の専門相談を実施した。

- |         |       |      |     |
|---------|-------|------|-----|
| ・教育相談   | (週1回) | 相談件数 | 10件 |
| ・行政書士相談 | (月1回) | "    | 23件 |
| ・入管手続相談 | (月1回) | "    | 23件 |
| ・弁護士相談  | (隔月)  | "    | 12件 |



外国人相談センター新潟

## (2) 相談員・通訳員育成

県内で外国人生活相談に対応する相談員や通訳員の資質向上を図る研修会を実施した。

- ・期日・会場：令和元年9月26日(木)～27日(金) 新潟大学駅南キャンパスときめいと
- ・講師：弁護士法人ユナイテッド法律事務所 弁護士 中村 崇 氏  
多文化社会専門職機構 事務局長 菊池 哲佳 氏

## (3) 相談関係機関との連携

新潟県行政書士会との共催により、在留資格等の専門的な分野を中心とする外国人無料相談会を開催した。

- ・期日・会場：11月15日(金)、東京出入国在留管理局新潟出張所
- ・相談件数：6件

## (4) 外国につながる児童生徒等教育支援

子どもたちが国籍にかかわらず安心して学び成長できる地域社会の実現を図るため、次の事業を実施した。

ア 外国につながる児童生徒及び保護者向け資料「日本の学校について～高校への進学など～」(10言語：日・英・中・韓・ロシア・インドネシア・タイ・タガログ・スペイン・ポルトガル)を更新し、ホームページに掲載した。

イ 外国につながる児童生徒及び保護者等を対象とし、通訳者等を交えた進路ガイダンスを開催した

### ・上越会場

期日・会場：4月13日(土)、7月6日(土)、12月14日(土)  
上越市市民プラザ

参加者：7カ国延べ42名(中国、日本、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、ブラジル、日本)

### ・新発田会場

期日・会場：12月1日(日)  
新発田市生涯学習センター

参加者：6カ国30名(中国、モンゴル、フィリピン、バングラディシ)



ユ、パキスタン、日本)

ウ 教育相談員による電話教育相談（毎週火曜 日・英・中・タイ・ベトナム）を実施した。

エ 当協会が事務局を担う「新潟県外国につながる児童生徒等教育支援ネットワーク協議会（通称：新潟県多文化子どもネット）」において、課題の解決に向けて研修会及び会議を開催した。

- ・第1回 日時・会場：10月15日（火）アオーレ長岡  
講 師：田所 希衣子氏（外国人の子ども・サポートの会 代表）  
原 瑞穂 氏（多文化子どもサポート RING 代表）
- ・第2回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

オ 母国から子どもを呼び寄せたいと考えている外国籍の保護者やその支援者に向けて、日本の教育制度や子どもの発達等に関して説明したガイドブック「国境を越えて移動する子どもたちの教育～保護者の皆さん、支援者の皆さんに知っておいてもらいたいこと」（日本語版）を作成し、要約版ハンドブックを4か国語（日・英・中・フィリピン語版）で作成した。



ガイドブックと多言語ハンドブック

#### (5) 在住外国人との交流事業

新発田市役所と共催し、近年増加している在住外国人が地域で孤立することなく社会とのつながりを作られるよう、防災意識の啓発や在住外国人同士及び日本人との交流を目的とする「在住外国人防災セミナー&交流会」を開催した。

- ・期日・会場：9月29日（日） 新発田市あかたにの家
- ・参加者 : 40名（新発田市在住のパキスタン、インドネシア、フィリピン、中国出身の外国人、日本語教室ボランティア、自治会会員等）

## 7. 留学生支援事業 7,351,854円

### (1) 留学生国際交流活動促進支援事業

国際交流や多文化共生活動の活発化を図るため、国際交流等の活動に意欲のある県内各大学の私費留学生を大学からの推薦に基づき、審査委員会を経て、留学生交流委員に任命した。

交流委員には活動支援金を交付し、国際交流に関するさまざまな活動に参加してもらうとともに、出身国への新潟県のPR等を行ってもらった。

- ・活動支援金：月額 30,000円×12月×20名
- ・任命式 : 平成31年4月7日（日）

・活動報告会：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



留学生交流委員任命式

## Ⅳの1 基盤強化（民間活動活発化） 4,443,872円

### 8. 民間団体助成事業 3,407,199円

#### (1) 国際化推進活動助成金の交付等

##### ア 国際化推進活動助成金

民間団体等が実施する国際交流等の活動を支援し、地域における活動の一層の促進を図るため、活動助成金を交付した(年2回)。

- ・助成実績：民間団体等 15 団体、計 2,196,220 円
- ・事業内容：国際交流、国際協力、人材育成、多文化共生推進等

##### イ 海外県人会等との青少年交流支援

県や関係団体と連携し、海外県人会等から協力を得ながら、次世代を担う青少年の友好交流を推進することを目的に、「新潟・ハワイ少年野球交流事業」を実施した。

- ・リトルシニアチームのハワイへの派遣  
ホームステイ : 8月18日(日)～20日(火)  
交流試合・交流プログラム : 8月19日(月)～20日(火)

#### (2) 研修室等の貸出

民間団体の国際交流活動を促進するため、国際交流プラザや研修室の貸出を行った。

- ・利用時間：原則として平日の14時～21時、土日・祝日の9時～21時
- ・利用件数：45件

### 9. 民間団体ネットワーク構築事業 97,993円

#### (1) 国際交流連絡会議

県内3地域において、市町村や民間団体等と情報交換・意見交換を行う国際交流連絡会議を開催した。

- ① 新潟会場 ・期日・会場：4月23日(火)、朱鷺メッセ  
・参加者 : 29 団体 35 名
- ② 長岡会場 ・期日・会場：4月24日(水)、アオーレ長岡  
・参加者 : 11 団体 15 名
- ③ 上越会場 ・期日・会場：4月25日(木)、上越市市民プラザ  
・参加者 : 4 団体 9 名

10. 在外県人会活動支援事業 938,680円

ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、ホノルルの各新潟県人会に対し、活動を支援するための助成金を交付した。

団体名	助成額(円)
ブラジル 新潟県人会	450,000
パラグアイ 新潟県人会	150,000
アルゼンチン新潟県人会	150,000
ホノルル 新潟県人会	150,000
合計	900,000

## Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 1,664,562円

### 11. 人材育成事業 1,664,562円

民間国際交流団体の人材育成や次世代を担う若者の国際理解の推進を図るため、講座やワークショップ等を開催した。

#### (1) 災害多言語支援ボランティア育成事業

災害時の外国人支援について共通認識を持ち、有事の際に速やかな連携が図られるよう、行政職員、社会福祉協議会担当者、在住外国人、留学生交流委員、当協会登録ボランティア等を対象とした「災害時外国人支援研修」を実施した。

・期日及び会場：

令和元年12月8日(日)、朱鷺メッセ

・内容：講演及びワークショップ

・講師：

(特活) 多文化共生マネージャー全国協議会  
副代表理事 講師 高木 和彦 氏

(公社) 中越防災安全推進機構地域防災力センター長 諸橋 和行 氏

(公財) 柏崎地域国際化協会事務局長 清水 由美子 氏

・参加者：42名



災害時外国人支援セミナー（ワークショップ）

#### (2) 医療通訳育成支援事業

外国人に対する医療支援の専門家及び医療現場の方を講師に招き、現状や課題等について理解を深めるセミナーを、3月16日(月)に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### (3) ボランティアバンクの運営

国際交流イベントを支援する意志のある者を「通訳・翻訳ボランティア」や「アースサポーター(イベント運営ボランティア)」としてボランティアバンクに登録し、主催者からの要請に基づきボランティア保険を付けて派遣した。

ア 通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターの活用

・通訳・翻訳ボランティア登録者数 251名

(英語 151名、中国語 57名、韓国語 22名、ベトナム語 5名、スペイン語 4名、モンゴル語 4名、ロシア語 3名、その他の言語 5名)

・アースサポーター登録者数名 114名

・イベント等への派遣 要請 8件、派遣 47名

イ 通訳ボランティアセミナーの開催

登録者を対象に通訳技術の向上等を図るセミナーを、3月8日(日)に開催

する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### (4) 国際交流ファシリテーター養成事業

〔新潟国際情報大学、敬和学園大学、新潟県立大学、上越教育大学、新潟大学連携事業〕

大学生 81 名（国情大 24 名、敬和大 12 名、県立大 17 名、上教大 16 名、新潟大 12 名）を国際交流ファシリテーターに委嘱し、小中学生・高校生等を対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるための国際理解ワークショップを実施した。

- ・派遣実績：県内 34 校（小学校 12 校、中学校 7 校、中等教育学校 2 校、高等学校 11 校、特別支援学校 1 校、その他 1 団体）
- ・テーマ：「世界の現実」、「世界の不平等」、「異文化理解」

#### (5) NGO スタッフ育成講座

国際交流・国際協力等を目的に設立された既存の NGO 団体のスタッフやこれから NGO 活動を始めたい人を対象とする研修会を、(特活) にいがた NGO ネットワークに委託して 3 月 7 日（土）に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### (6) 国際理解教育推進支援事業

県内における国際理解教育の充実・進展を図るため、小・中・高校の教職員等を対象とした国際理解教育セミナー及びワークショップを開催した。

##### ① セミナー

- ・期日・会場：11 月 14 日（木）新潟県立教育センター
- ・テーマ：多文化共生の学校づくり
- ・講師：釜田 聡 氏（上越教育大学大学院 教授）

##### ② ワークショップ

- ・期日・会場：9 月 22 日（日）クロスパルにいがた（新潟市）
- 11 月 2 日（土）長岡市民センター（長岡市）
- 11 月 23 日（土）トキ交流会館（佐渡市）
- 12 月 7 日（土）上越教育大学（上越市）



国際理解教育セミナー

**12. 広報・ライブラリー運営事業 407,960 円**

県内団体や一般県民等に対し、国際交流や国際協力に関する情報及び当協会の事業等に関する情報を広く提供した。

**(1) 広報誌の発行(再掲)**

県内における国際交流や多文化共生推進の取組を紹介することにより県民の国際理解を促進するため、県民を対象とした広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学等や公共施設等に配付した。

・発行時期：9月(第18号)、令和2年3月(第19号)

・配付先：【日本語版】県内高校・大学等、公民館、図書館、市町村、民間団体等  
計 13,000 部

【英語版】 県内大学等、公民館、図書館、市町村等 計 3,800 部

**(2) 年次報告書の発行**

当協会の事業について周知を図るとともに関係機関から事業推進への協力を得るため、平成30年度事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係各所に配布した。

**(3) PR記事掲載**

賛助会員の募集について朱鷺メッセのフリーペーパー「トツときガイド」を活用してPRした。

**(4) プラザ・ライブラリー運営**

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物)を整備し、県民の利用に供した。

**ア 蔵書等の状況**

・図書

・各種団体発行物

(一財)自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等

・開発途上地域でのNGO活動を伝える映像資料等(ビデオ、DVD、CD、CD-ROM)

・雑誌

・新聞 新潟日報、ジャパントイムズ

・その他(県内外のNGOや全国の国際交流協会の機関誌、語学学習用教材等)

**イ 蔵書等の活用**

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物)を県民の利用に供した(貸出は賛助会員のみ)。

**13. IT活用促進事業 366,240円**

多言語ホームページ(日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語)の運営を行い、各種情報を掲載した。また、県協会ニュースや関連団体の県内外イベント情報等を定期的にメールマガジンとして配信するとともに、Facebookでも情報を発信した。

**14. 賛助会員募集事業 93,281円**

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	元年度
個人	38	39	42	39	30
団体	61	58	63	56	51
計	99	97	105	95	81

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社利用割引</li> <li>・レストラン等利用割引</li> <li>・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 15件) (県立近代美術館割引券利用件数 1件)</li> </ul>
団体会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修室の貸出(45件)</li> <li>・国際化推進活動助成金の交付 (15団体、総額 2,196,200円)</li> <li>・印刷機の利用</li> </ul>
個人会員 団体会員 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント案内等の送付</li> <li>・国際情報ライブラリーの図書貸出</li> <li>・国旗貸出(51件)、 民族衣装貸出(12件)</li> </ul>

**15. 国旗等貸出事業 73,677円**

国際交流活動を行う賛助会員や団体に対して、世界各国の国旗や民族衣装・グッズ等の貸出を行った。

- ・貸出実績：国旗 28団体 51件  
民族衣装 9団体 12件